

原理に由りて過去の思想を批評することでもなく哲學的原理そのものが不可知と可知を超越してしかも可知に即しつゝ不可知が自らを現じ來る過程即ちphilosophierenの過程について、philosophierenの尖端が益々鋭く深くなるために更に更にNachphilosophierenしなければならぬことに存すること、そしてそれは獨りphilosophierenの手に由つてのみなされること、それは過去のphilosophierenの批評でなく現在の哲學原理を導くEinleitungであると見るの思想であらう。

眞に考へると云ふことが即ち懺悔であるならばわが思想わが懺悔は萬人の前にさらけ出して萬人の石に打たれねばならないと云つた故人。故人自らならばこそ、さならずして故人と生前深き知己もなかつた私が此處に此一巻を紹介することは故人の眞の意志に叶ふものではあるまいと思はれる。とは云へこれも故人と時を距て、結ぶべき不思議の縁として許されんことを祈る。

目次、哲學概論(未定稿)、懺悔としての哲學、哲學史の本質に就いて。哲學的思想と藝術的情緒、無限を追ふ心、抽象を追ふ心。論理的に就いて。日記(明治四十四年度、大正五年度、六年度五月迄)外に跋として西田先生、花田、立木、榎本、小笠原諸氏の感想、編輯者小笠原秀實、非賣品。一一、一〇務臺埋作)

普遍への復歸と報酬の生活 西晋一 郎著

吾等に國民生活が存するならば吾等にまことの國民道徳があらねばならない。何をか國民生活と云ふのであるか。果して眞に國民生活と呼び得るものが存するであらうか。個人は社會に即し社會は個人に即すると云ふ言葉はこの間に對して極めて簡便に役立てられるが、然しこの言葉ほど如何様にも意味深くまた如何様にも皮相に留まり得るものはない。單に心理學的社會學的に人性と社會を解剖して人性の自然より二者相即の理を説くにしてもそれは只本能的集合生活を説くより外に新しい意味を見出し難いであらう。また反對に個人相互の權利を保護するための手段として強制的又は約束的團體生活が營まるゝと云ひ得るにしても個人の權利を何によつて基礎附け得るか説明し難いであらう。國民は動物的本能的社會の産物でもなくまた單なる市民的社會の一員でもない。國民は眞に道徳的理性の自覺の上に見出されねばならない。國民的自覺は傳統的なる權威や命令的な壓制の下に見出さるものでなく自然的若しくは法制的社會を理性化して一切を文化精神の發願と見るべき人間理想の根本義に基かねばならない。それ故によく考ふれば國民あつて國民道徳あるのでなく自覺せる國民性あつてはじめて眞の國民あるのである。國民性の自覺即ち國民道徳

であるならば國民道德は國民の根本である、而してそれは吾等の深き自覺に於てのみ許さるゝことである。吾等の自覺を外より抗束して徒らに傳統的思想を強いんとすること程吾等の心情の發展を傷ふものはない。かくしてなほ國民たらしめんとするならば大なる誤謬と云はねばならない。生命なく發展なく何等の敬愛なき國民道德のために、只そのものゝために吾等を忠實なる國民たらしめんと懲罰するものは已に本末を謬れるもの、これより無意義なるはない。近來ともすれば名のための國民道德を提唱して世の所謂良き子とならんとするもの多き中に博士の如く眞實の一路に立たれ深く人性自然の心情に汲み入つて、仁義の根本義より國民の自覺に及び人格の敬愛と理性の尊嚴とを説かるゝあるは多大なる感謝と云はねばならぬ。「普通への復歸と報謝の生活」は博士が數年來の論文を集められ、普通への復歸、反始報謝の生活、道德と宗教との關係、宋の教學に就いての四篇に分類せられたもので、孰れも博士獨特の立場よりなるもの、文簡なれど意深く理の皮相を離れて眞隨に徹し讀み行くまゝにしみじみと論され懇ろに導かるゝ心地する。わけても「感謝の無限」はかつて本誌上に「心情の無限」と題して表はされたものであるが再讀すればまた自らなる妙趣の津々として湧くを覺ゆる。蓋し博士の報謝の思念は博士の宗教道德に立つて甬めて會得すべきもの、其處に博士の説かるゝ

ものが彼の國民道學者流を超脱して無限の新味を藏する所以であらう。國民道德の眞諦に對して疑竇あるもの、國民道德に關して無關心なるものゝ、良き讀ものなることを嬉しく思ふのである。卷末に精細なる索引あり、定價金貳圓東京市牛込區新小川町三ノ十九 株式會社日本社發行（新臺理作）

彙 報

京都哲學會秋季公開講演會

十月廿四日（日）午後一時半より京大法學部第一教室にて開催左の講演を行へり。

一、基督教修道院の宗教思想

マスター、オブ、アーツ

日野 眞澄君

一、教育の基礎としての自我

文學 博士

吉田 熊次君

右終了後學生集會場にて晩餐會を催し主賓吉田日野兩氏の外多數會員參集、八時半散す。

教育學會例會

十月廿八日午後六時より學生集會場にて例會を開き左の講演あり